

サービス提供体制強化加算の算定要件について

●加算要件

サービス提供体制強化加算（Ⅰ） 22単位/人

① 次のいずれかに該当すること

- 1) 介護職員の総数（常勤換算）のうち、介護福祉士の占める割合が70%以上であること
- 2) 介護職員の総数（常勤換算）のうち、勤続年数10年以上の介護福祉士の占める割合が25%以上であること

② 定員超過利用・人員基準欠如に該当していないこと

サービス提供体制強化加算（Ⅱ） 18単位/人

① 次のいずれかに適合すること

- 1) 介護職員の総数（常勤換算）のうち、介護福祉士の占める割合が50%以上であること

② 定員超過利用・人員基準欠如に該当していないこと

サービス提供体制強化加算（Ⅲ） 6単位/人

① 次のいずれかに適合すること

- 1) 介護職員の総数（常勤換算）のうち、介護福祉士の占める割合が40%以上であること
- 2) 利用者に直接提供する職員の総数（常勤換算）のうち、勤続年数7年以上の占める割合が30%以上であること

② 定員超過利用・人員基準欠如に該当していないこと

※職員の割合の算出は、常勤換算によって算出し、前年度の平均を用いる。

※利用者に直接提供する職員とは、生活相談員、介護職員、機能訓練指導員、看護職員を指す。